

## 新成人と還暦を祝うつどいを開催しました

法人事務局 主任 辻 純三子

1月15日にKKRホテル大阪で、平成29年新成人と還暦を祝うつどいを開催しました。

今年度も大阪手をつなぐ育成会、大阪市手をつなぐ育成会、大阪ともだちの会、きずな会の4者での共催となり、大阪ともだちの会・きずな会の皆さんも会場の受付や進行を担いました。

今回は1月15日という事で、この日は各地で雪が降るという当たり日の開催となり、大阪府でも前の晩からの降雪で積雪もありましたが、大阪市内に限っては降雪や積雪もなく穏やかな一日でした。

当日は、新成人を迎えられた方が13名、還暦を迎えられた方が4名ご参加され、そのうち大阪市育成会からは、新成人を迎えられた方が2名、還暦を迎えられた方が1名ご参加されました。

会の方は、主催者の挨拶に続き、当日ご参加されていた方々のご紹介があり、その後に来賓の方々から新成人の皆さんと還暦の皆さんにお祝いの言葉がありました。

その後のアトラクションでは、「どんぐりバンド」の皆さんによるコンサートがありました。バンドのメンバーは20代から80代の方と幅広く、使っている楽器もリコーダーやハーモニカといった馴染みのある楽器から、琴、二胡(中国の民族楽器)、ノコギリ、スイスホルンといった様々な楽器も登場しました。演奏していただいた楽曲も伝統的なものから、みんなで踊って楽しむことができるような曲もあり、その中には世界的に流行している「PPAP」もありました。また、最後には80年代初頭に子ども達の中で流行ったザ・ドリフターズのテレビ番組『8時だョ!全員集合』のヒゲダンスのコントがあり、大阪ともだちの会ときずな会のメンバー、新成人と還暦の参加者も交え、世代を越えてコントに参加して一緒に楽しんでいたのが印象的でした。



きずな会の皆さんは、昨年に引き続き2回目の新成人と還暦を祝うつどいの参加でした。場を重ねるにつれ、人前に出ることも徐々に慣れてこられた様子でした。今後も様々な場面で、きずな会の皆さんが出られる機会が増えればと思いました。

## 障害と理由とする差別の解消に向けた地域フォーラムに参加しました

法人事務局 事務局長 飯塚 聡

2月8日に阿倍野区民センター大ホールで、「障害と理由とする差別の解消に向けた地域フォーラム」が開催されました。

このフォーラムは、平成28年4月に施行された「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」(以下、障害者差別解消法)について周知、普及啓発を図るため、内閣府と地方公共団体が共催して民間事業者の実践例紹介や学識経験者、障がい当事者、事業者等によるパネルディスカッション形式での講演会です。

今年度は全国14カ所で開催されており、15回目となる今回は大阪市で開催されました。

今回のフォーラムでは、当事者団体として大阪市身体障害者団体協議会の手嶋会長と当法人の小泉理事長がパネリストで登壇しました。

第一部では、最初に内閣府 障害者施策アドバイザーの尾上 浩二 氏より障害者差別解消法のポイントの解説がありました。尾上氏は大阪市内の出身という事もあり、大阪市における障害者福祉施策の歴史も含めながらの解説で、国の動きよりも早い時期に大阪府や大阪府が、障がい者差別解消に向けた取り組みを進めていたという話もありました。

次に大阪市 福祉局より大阪市における取組状況の報告がありました。大阪市では国の想定している障がい者差別解消支援地域協議会については、大阪市障がい者施策推進協議会の中の一部会として設けており、事例収集や取組の分析や啓発を行っています。また、国では努力義務で位置付けている職員対応要領は、大阪市の全ての局、教育委員会、地方独立行政法人で策定しています。そして、大阪市での障がい者差別解消相談窓口は、区役所、区障がい者相談支援センター等に57ヶ所を設置して相談を受け付けています。

第二部では、民間事業者の実践例紹介として、「がんこフードサービス」より発表がありました。がんこフードサービスは飲食店を96ヶ所経営しており、顧客満足度を高めるため、ハード面として店舗の設備は